

ゴウワン® Lフロアブル

■種類名：特許名「クロメロン・クロメプロップ・ブロモブチド」・ベンスルフロンメチル水和剤

■有効成分：オキサジクロメホン-----1.2%
 クロメプロップ-----6.0%
 ブロモブチド-----12.0%
 ベンスルフロンメチル-----1.0%

■PRTR法指定物質：オキサジクロメホン [第1種] -----1.2%

■登録番号：第21715号（北興産業登録）

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：2006.06.07

■性状：類白色水性和性粘稠懸濁液

■有効年限：4年

■包装：500ml x 20本、2ℓ x 6本

【特長】

- 一年生雑草から多年生雑草まで幅広い雑草に有効な一発処理除草剤。
- 有効成分クロメプロップとブロモブチドの共力効果により SU 抵抗性雑草に高い除草効果を発揮する。
- ノビエの発生を長期間抑える。
- 直播水稻にも使用可能。

【適用内容】(2014年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ クログワイ(関東・東山・東海) ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離(近畿・中国・四国、九州)	移植時	砂壤土 ～ 埴土	500 ml /10a	1回	田植同時 散布機で施用	全域(北海道、東北を除く)の 普通期及び 早期栽培 地帯
		移植直後～ ノビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで				原液湛水散布	
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ、セリ	稲 1 葉期～ ノビエ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで	埴土 ～ 埴土				全域 (北海道、東北を除く)

オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	クロメプロップを含む農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの 2.5 葉期までに時期を失ないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。
- ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは 2 葉期まで、ヒルムシロ、クログワイは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。
- クログワイ防除は、必要に応じて有効な後期剤と組み合わせて使用すること。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布すること。
- 本剤散布後、少なくとも 3～4 日間は通常の湛水状態(水深 3～5 cm 程度)を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意すること。また、散布後 7 日間は落水、かけ流しをしないこと。自然減水により田面の一部が露出する間際になったら、水尻は止めたままにし、通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。
- 苗の植付けが均一となるように、整地や代かきはしていぬいに行うこと。未熟有機物を施用した場合には特にしていぬいに行うこと。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けること。
 - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深 2 cm/日以上)
 - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
 - ◆ 極端な浅植の水田
- 本剤を直播水稻で使用する場合、稲の根が露出する条件では、薬害を生ずるおそれがあるので注意すること。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、効果不足の恐れがあるので使用を避けること。
- 本剤は、移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用すること。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。
- 散布器、ホース、ノズル、タケ等の器具は、使用後速やかに十分に水洗し、洗浄液は水田内で処理すること。また、使用した機器等は水稻用薬剤以外に使用しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ※ 誤飲などのないように注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けること。
- ※ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けること。使用後は洗眼

すること。

- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスクなどを着用すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。